

平成29年 5月

第686号



水土里ネット長崎だより

長崎県土地改良事業団体連合会



第9回 長崎の農業・農村写真コンテスト
部門優秀賞(農業)
「収穫日和」諫早市飯盛町



～目次～

年度初めのご挨拶 (水土里ネット長崎会長)	2
年度初めのご挨拶 (長崎県農村整備課長)	3
第61回通常総会	4~5
全国水土里ネット第59回通常総会	6
全国水土里ネット表彰式	6
長崎県農林部幹部職員名簿	7
長崎県の平成29年度農業農村整備予算割当額	7
長崎県の農業農村整備予算の推移	7
平成29年度 長崎県土地改良事業団体連合会 機構図	8
新入職員紹介	9
第10回長崎の農業・農村写真コンテストのお知らせ	9
会議と行事	10
第40回全国土地改良大会静岡大会	10



年度始めのご挨拶

水土里ネット長崎
会長 宮本 正則

花の便りに心弾ませる季節となりましたが、会員並びに関係各位には、ご壮健でお過ごしのことと心からお慶び申し上げます。

また、皆様には平素より本会の業務運営並びに農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援とご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、日本の農業を取り巻く環境に目を向けますと、農業従事者の減少や高齢化、耕作放棄地の増加などによる生産基盤の脆弱化、土地改良施設の老朽化などの、諸課題が顕在化していることに加え、昨年の米国の TPP 交渉離脱表明により、農業施策の先行きの不透明感があり、多くの課題を抱えております。

このような中、平成29年度農林水産省予算は、「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づき、農林水産業を成長産業化して、農林漁業者の所得向上と農山漁村のにぎわいの創出を目指すとともに、食料自給率・自給力の維持向上に向けた施策を展開することとし、総額 2 兆 3,071 億円を計上しています。

このうち、農業生産基盤と農村の生活環境の整備を通じて「農業の持続的発展」「農村の振興」「食料の安定供給」「多面的機能の発揮」の実現を図るための、国の農業農村整備事業当初予算は、総額 4,020 億円で、前年比 105%と伸びているものの、予算削減される前の平成 21 年度 5,772 億円と比べ、70%と道半ばであります。計画的な事業推進のためには、当初予算の一刻も早い回復が重要と考えております。

一方、本県では、平成 28 年度から農林業・

農山村全体の所得向上、地域がにぎわう社会の実現を目指した「新ながさき農林業・農山村活性化計画」が策定され、この活性化計画に基づいて、農業農村整備事業が担う分野の目標を掲げた「ながさき農業農村整備推進計画 2016 - 2020」も策定され、2つの基本目標が掲げられております。

1つ目の目標は、地域の施策目的に応じて、営農形態や地形条件、生産環境に即した生産基盤整備の強化などを図り「担い手確保のための生産基盤の強化」。

2つ目の目標は、農村地域の防災・減災対策、土地改良施設等の適切な保安全管理などを図り、「農村の暮らしを支える環境整備」とされております。

以上を踏まえ、水土里ネット長崎としては、所得向上の中心となる生産基盤の整備推進はもとより、土地改良施設の適切な保全・管理を含めた農業農村整備事業当初予算必要額の確保とともに農家負担軽減等についても、会員をはじめ、県並びに関係機関と連携し、積極的に国に対して要請活動を実施することで、本県農業農村整備事業の推進を着実にしたいと思っております。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、農業農村整備事業の発展と皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ年度当初のご挨拶といたします。



年度始めのご挨拶

長崎県農林部農村整備課長
西尾 康隆

長崎県土地改良事業団体連合会会員の皆様方には、日頃より農業農村整備事業の推進につきまして、ご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、農業を取り巻く情勢は、世界的には、これまで注目されていたTPPについては、アメリカの離脱によりその発行が困難な状況に至っています。しかし、世界の主要国はこの外にもRCEP、日EU-EPAなどのメガFTA（自由貿易協定と経済連携協定の総称）への参加を最優先とする通商戦略へと大きく舵を切っており、TPPは、このメガFTAの一部に過ぎません。我が国についても、2018年度までに、貿易額に占めるFTA締結国との貿易額の割合（カバー率）を70%まで引き上げることを目指しています。現在のカバー率が23%、「TPP」を加えても37%であることを見てもメガFTAが日本経済に大きく影響することは明白です。さらに、国内においても、米の直接支払交付金（75億円/10a）については、平成30年度からの廃止が決定しており、現在開会中の国会では「農業競争力強化支援法案」や「土地改良法の一部を改正する法律案」などの法案が提出されています。

以上のことから、我が国の農政に新たな波が生まれようとしていることも明らかであり、TPPの発行の有無に関係なく、農業の体質強化（競争力強化）は喫緊の課題であることに変わりありません。

このような中、本県では、「新ながさき農林業・農山村活性化計画」（H28～H32）の着実な実現のため「ながさき農業農村整備推進計画」を策定し、農地の基盤整備や、ため池・地すべり・海岸等の防災・減災対策を実施し、農業所得の向上を目指して取り組むこととしております。

また、本県の農業農村整備事業予算につきましては、平成26年度の国の補正予算が小規模であった影響を受け、平成27年度実質執行予算は当初

予算を合わせても45億円に留まり、事業実施地区の土地改良区の皆様にはご迷惑をお掛けしました。まず、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

しかしながら、皆様方の熱心な要望活動のお陰を持ちまして、平成28年度の実質執行予算は75億円と近年の約60億円予算から大幅増の予算を確保出来ました。さらに、平成29年度の国の農業農村整備事業予算は、公共事業全体の当初予算が対前年比0%の中、5%増の4,020億円、これに前年度補正予算1,752億円を合わせると5,772億円となり予算大幅削減前の平成21年度当初予算水準まで回復しております。この結果、本県の平成29年度実質執行予算は、86億円（対前年比115%）の見込みとなっている状況です。これも皆様方の度重なる熱心な要望活動の賜物であり、重ねて厚く感謝を申し上げます。

県といたしましても、農業農村整備事業は農業振興、そして地域振興に不可欠な事業であると認識しており、今後も必要予算の確保に努め、基盤整備を中心とした農業農村整備事業を積極的に推進してまいります。

職員にも「農業農村整備事業の主役は、農家皆様（地域）であり、我々農業土木職員は、そのサポート役である。我々の目標は地域のニーズに対して様々な手法を駆使して地域活性化に繋がる成果を生み出せる職員になることである。」と伝えており、職員一同で皆様方のお力になれるよう努めてまいります。皆様方におかれましても、農業農村整備事業の主役として、地域をしっかりと担っていただきますようお願い致します。

最後に、更なる農業農村整備事業の発展と皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げまして年度当初のご挨拶といたします。

第61回 通常総会

2月23日（木）、長崎県市町村会館において、本会の第61回通常総会が開催されました。

本総会は、市町村関係6団体による合同総会として開催されています。

13時から開催された合同総会では、長崎県市町村福祉振興協議会 一瀬政太会長が各団体を代表して挨拶がなされ、来賓の中村法道：長崎県知事（代理：里見晋副知事）、田中愛国：長崎県議会議長、金丸康夫：九州農政局長（代理：山内勝彦地方参事官）が祝辞を述べられました。

合同総会に引き続き、本会の第61回通常総会が、119会員のうち、委任状を含む115会員の出席により開催されました。

総会は、議長に平山学：諫早干拓土地改良区理事長を選任し議事に入り、上程した議案は全て可決承認されました。

最後に決議文を道原理事長（飯盛土地改良区）が力強く朗読し、満場一致で採決されました。

また、合同総会において、土地改良事業功労者表彰が執り行われ、6名の受賞者へ賞状と記念品が宮本会長より授与されました。

《本会総会議事》

- 第1号議案 平成27年度事業報告書、収支決算書及び財産目録の承認を求める件
- 第2号議案 平成28年度事業変更計画書及び収支補正予算書の承認を求める件
- 第3号議案 平成29年度経費の賦課及び徴収方法の承認を求める件
- 第4号議案 平成29年度事業計画書及び収支予算書の承認を求める件
- 第5号議案 役員報酬額決定の承認を求める件
- 第6号議案 借入金額の限度及び借入の方法並びに余裕金の預入先決定の承認を求める件



宮本正則会長



長崎県知事（代理：里見晋副知事）の来賓祝辞



九州農政局長（代理：山内勝彦地方参事官）の来賓祝辞



第61回通常総会

決 議 (案)

農業・農村は、国の大本であり、安全・安心な食料の安定供給とともに日本の豊かな国土や自然環境を形成し、潤いのある国民生活を支えてきた。これも先人達の農地や農業用水路など地域資源の維持向上に向けた献身的な努力の賜物であり、農業・農村が健全であって初めて維持されるものである。しかしながら、農業・農村においては、農業従事者の減少や高齢化、耕作放棄地の増加、担い手不足等による農業用水の管理や営農の継続への影響など多くの課題に直面している。さらには人口減少に伴う地域活力の低下などが懸念されている。

農業・農村の持続的発展のためには、生産基盤と農村環境の整備は不可欠である。持続可能な強い農業の実現のためには、大規模化、省力化、汎用化等の優良農地の創出を実現する生産基盤整備の加速化と適時適切な農業水利施設等の維持・更新が必要である。加えて、近年の気候変動に起因する豪雨災害が多発する中、ため池を含む農業水利施設の老朽化の進行に対する、防災・減災対策の推進も必要である。本県では、すでに完成した畑の基盤整備の効果が着実に現れており、農業経営の強化とともに地域の活性化に繋がっている。このように、農業農村整備は、地方創生、農業の競争力強化、国土強靱化といった政策課題への対応において重要な役割を担っている。

昨年8月に策定された新たな土地改良長期計画の中で掲げられた、産業政策としての「豊かで競争力ある農業」、地域政策としての「美しく活力ある農村」、さらにこれらを支える土台としての「強くてしなやかな農業農村」の三つの政策課題に対し、万全の対策を一刻も早く講じることを国に對し要望する。

このような現下の状況を踏まえ、これまで培ってきた経験と技術を活用し、国が目指す施策の展開方向を踏まえ、「闘う土地改良」の「スローガン」の下、左記事項が確実に実現されるよう国並びに県当局に求めることを第六十一回通常総会の名において決議する。

記

- 一、食料自給率の向上と担い手への農地集積を加速化し、コスト低減や高品質な農作物の生産など豊かで競争力ある農業の展開を可能とするため、農地の大区画化や排水対策、畑地かんがい施設の整備をはじめとした生産基盤整備を着実に推進すること
- 一、農村地域の強靱化に資するよう、ため池をさび若朽化した農業水利施設の長寿命化と耐震化、洪水被害防止等の防災・減災対策を、国が責任を持って着実に推進すること
- 一、健全な農業生産活動には、水路、ため池等の農業用施設の適切な維持管理を実施している土地改良区の役割が重要であるため、担い手への農地集積等に対応した施設の適切な維持管理を行えるよう、土地改良区の運営基盤の強化を図ること
- 一、じわりの施策を計画的に実現するための農業農村整備事業当初予算を確実に確保すること

平成二十九年二月二十三日

長崎県土地改良事業団体連合会 第六十一回通常総会

土地改良事業功労者表彰受賞者

原田 泰光 (長崎市 水産農林部長)

川上 健一郎 (五島市 農林整備課長)

篠塚 恒幸 (溜水・妙見土地改良区 理事長)

森崎 一成 (南島原市 農林水産部長)

郡 勝寿 (西海町土地改良区 理事長)

小林 茂俊 (鬼岳土地改良区 理事長)

※敬称略

受賞おめでとうございます!



土地改良事業功労者表彰式



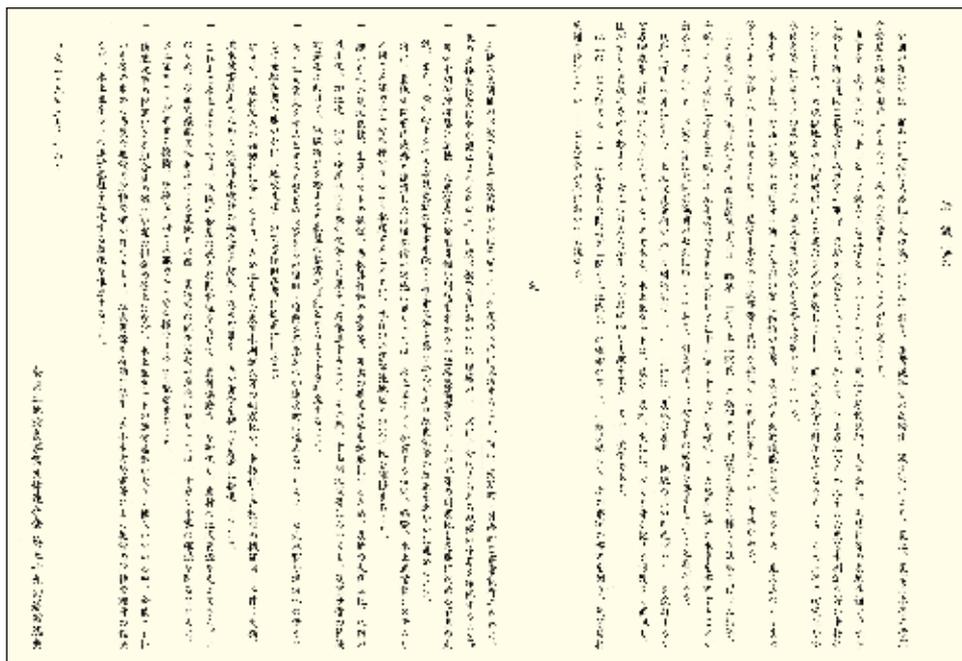
受賞者の皆様

全国水土里ネット第59回通常総会

3月24日（金）、都市センターホテル（東京都）において、全国水土里ネット第59回通常総会が、全国からの委任状を含む全51会員の出席により開催されました。

来賓あいさつで進藤金日子：都道府県土連会長会議顧問は「今後も土地改良事業の必要性について訴え、理解をいただき、予算確保に努めてまいります」と述べられました。

その後、上程された議案については、全て満場一致で可決されました。また、議案可決後、総会決議（案）が事務局より読み上げられ、満場一致で採決されました。



全国水土里ネット表彰式

3月24日（金）、シェーンパッハ・サポー（東京都）において全国水土里ネット表彰式が執り行われ、山本有二：農林水産大臣、進藤金日子：土地連会長会議顧問、佐藤速水：農村振興局長をはじめ、幹部職員を来賓として迎え、農業農村の発展に尽力し貢献されてきた方々の功績を称えました。なお、本県からの受賞者は以下のとおりです。

第58回全国土地改良功労者表彰

- 金章：島原深江土地改良区（島原市）
- 銀章：中央土地改良区（平戸市）
- 銅章：飯盛開土地改良区（諫早市）
- 土黒土地改良区（雲仙市）
- 個人：石橋博（布津北部土地改良区理事長）
- 西健二（小値賀土地改良区事務局長）

農業農村整備優良地区コンクール表彰

- 農村振興局長賞：小豆崎土地改良区（諫早市）



左から、本川事務局長、飯盛開：木下理事長、中央：濱崎理事長、小豆崎：久本理事長、布津北部：石橋理事長、進藤金日子：土地連会長会議顧問、小値賀：西事務局長、島原深江：福嶋副理事長、松尾副会長

長崎県農林部幹部職員名簿（平成29年4月1日付）

部署名	職名	氏名
【農林部】	部長	加藤 兼仁
	政策監	前田 健次
	次長	中村 功
	次長	宮崎 浩善(新)
農政課	課長	福田 修二
農山村対策室	室長	川口 健二(新)
団体検査指導室	室長	上田 幸明(新)
農業経営課	課長	綾香 直芳(新)
農地利活用推進室	室長	山形 雅宏(新)
農産園芸課	課長	渋谷 隆秀
農産加工流通課	課長	長岡 仁
畜産課	課長	大曲 祥之
農村整備課	課長	西尾 康隆(新)
	企画監	土井 幸寿(新)
	参事	篠崎 剛(新)
諫早湾干拓課	課長	藤田 昌三
林政課	課長	内田 陽二(新)
森林整備室	室長	永田 明広(新)

部署名	職名	氏名
【県央振興局】	局長(兼)部長	江藤 博之
	副部長	山本 奉彦(新)
【島原振興局】	部長	光永 郁宏(新)
	副部長	野口 和弘(新)
【県北振興局】	部長	永田 隆(新)
	副部長	里中 秀明(新)
【五島振興局】	部長	溝口 聖
	課長	田嶋 博文
【杵岐振興局】	部長	池田 恭治
	課長	石村 敬浩
【対馬振興局】	部長	居村 憲昭
	副部長	峰 靖彦

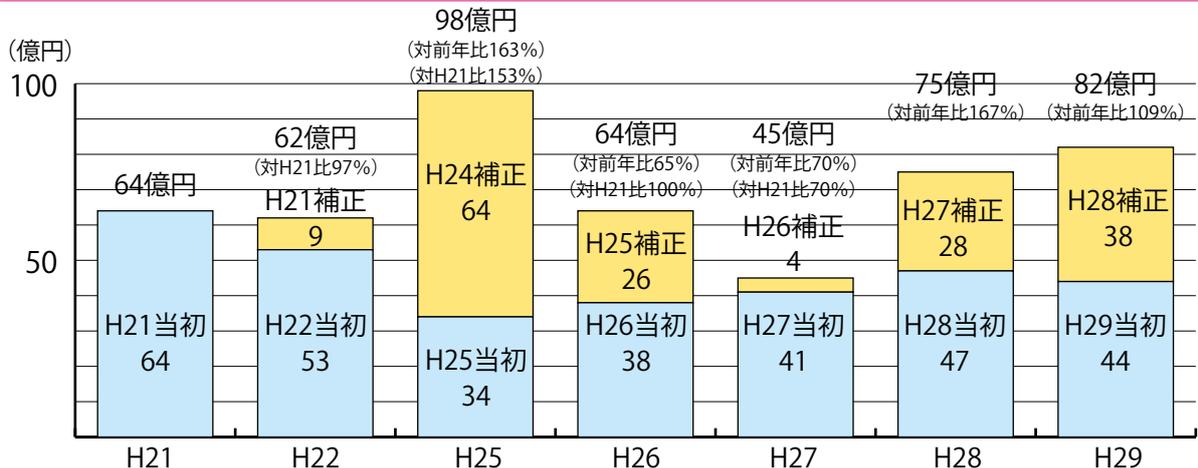
長崎県の平成29年度農業農村整備予算割当額

	H28補正	H29当初
農業競争力強化基盤整備	3,239,092	1,816,064
農業基盤整備促進事業	52,200	4,100
農村地域防災減災事業	518,334	1,060,228
農山漁村地域整備交付金	0	1,515,246
その他	0	38,511
合計	3,809,626	4,434,149
農地耕作条件改善事業(非公共)	0	7,055
総計	3,809,626	4,441,204

(事業費ベース)
単位:千円

※中山間地域所得向上支援枠を除く

長崎県の農業農村整備予算の推移



平成29年度 長崎県土地改良事業団体連合会 機構図

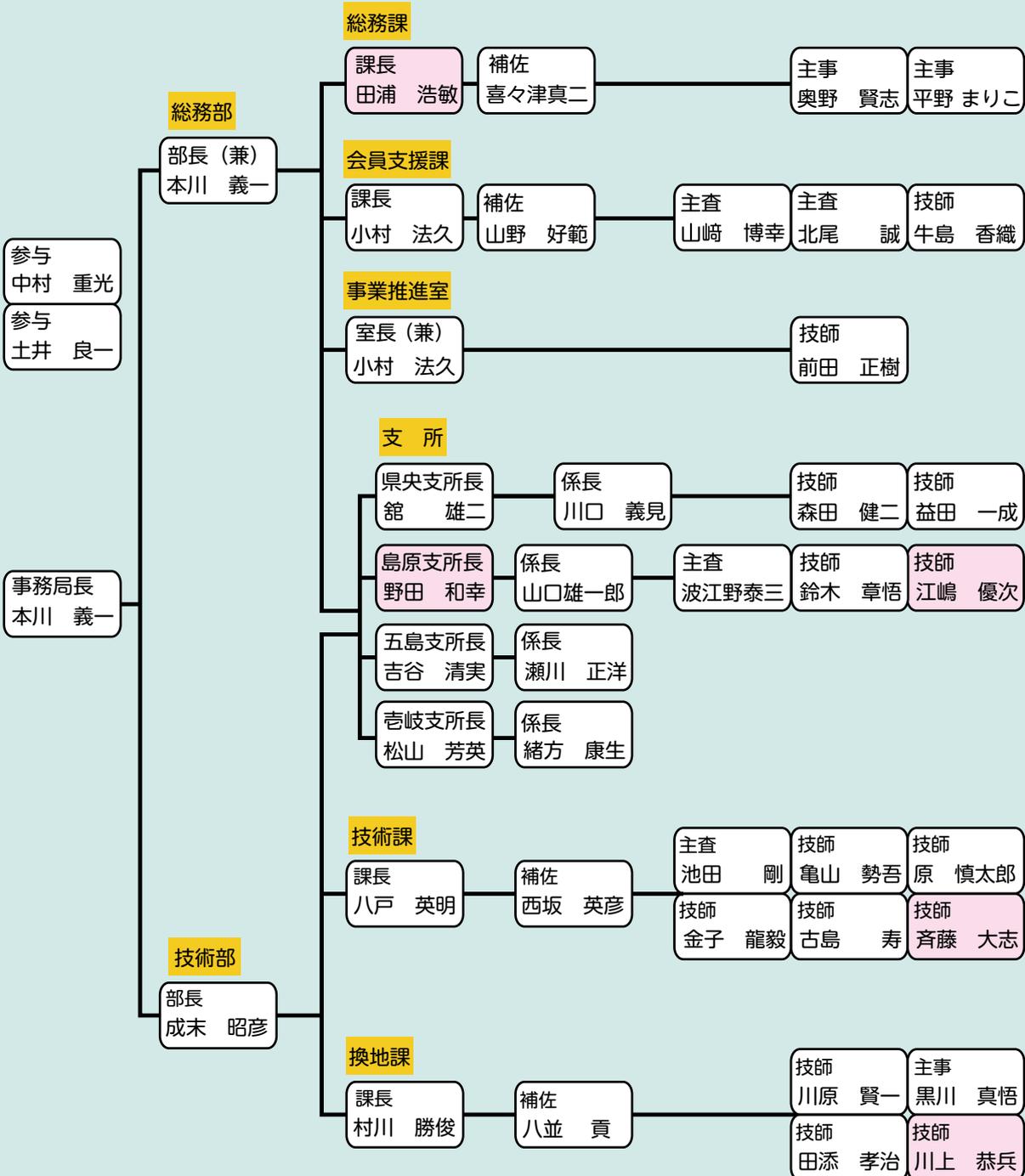
役員

平成29年5月1日現在

※配置換えは

会長 宮本正則	副会長 (専務理事) 松尾一郎	副会長 東彼杵町長 渡邊 悟	理事 諫早市長 宮本明雄	理事 島原市長 古川隆三郎	理事 雲仙市長 金澤秀三郎	理事 南島原市長 松本政博	理事 田平理事長 小川隆友	理事 飯盛理事長 道原 悟	理事 芦辺理事長 白川永利	代表監事	監事 電尾川理事長 大久保純三	監事 牟田理事長 川口規一
------------	-----------------------	----------------------	--------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	------	-----------------------	---------------------

事務局



本会の新規採用職員の紹介

平成 29 年 4 月 1 日付



名前：齊藤 大志
(さいとう たいし)
所属：技術課
出身：大村市

皆さん、はじめまして。今年度より水土里ネット長崎に入会しました齊藤大志です。大村工業高校建設工業科では、測量や土木力学などの専門知識を学び、実習を積み重ねてきました。

しかし農業については学習しておらず、ほとんどがゼロからのスタートです。

しかし農業については学習しておらず、ほとんどがゼロからのスタートです。一日一日を大事にし早く一人前の農業土木技術者になり、長崎の農業農村の発展のために頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



名前：江嶋 優次
(えじま ゆうじ)
所属：島原支所
出身：諫早市

皆さん、はじめまして。今年度より水土里ネット長崎に入会しました江嶋優次です。諫早農業高校農業土木科では、測量や水理などを学び、農業土木は生活に欠かせない重要なものだと感じました。

また、私の祖父が農家で、田植えや稲刈りを手伝う事により農業の大変さ、大切さを学ぶ事が出来ました。

少しでも早く、多くの仕事を覚え、戦力になれるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

第10回長崎の農業・農村写真コンテストのお知らせ

毎回たくさんのご応募をいただいています写真コンテストを、今年も開催いたします。皆様の力作をお待ちしております。

【募集規定】

長崎県内で撮影された、未発表の単写真

【作品サイズ】

四つ切りサイズ(四切、ワイド四切)及び A4 サイズとします。

【応募方法】

応募票に必要事項を記入し、作品の裏側に張付けてご応募ください。応募票はホームページからダウンロードできます。

【各賞】

長崎県知事賞 1点(3万円商品券)
水土里ネット長崎会長賞 1点(2万円商品券)
部門優秀賞(農業・農村景観・土地改良施設部門) 3点(1万円商品券)
入選 10点(3千円商品券)

【お問合せ先】

〒850-0057 長崎市大黒町 9-17
長崎県土地改良事業団体連合会 総務課
「長崎の農業・農村写真コンテスト」係
(TEL: 095-823-3101)

第10回 長崎の農業・農村写真コンテスト 作品募集

長崎の農業・農村が持つ大切な役割を多くの人に知っていただき、関心を高めていただくために、「長崎の農業・農村写真コンテスト」を開催致します。心に残る農業写真や伝えたい伝統などを撮影した作品を応募して下さい。

素敵な瞬間を撮ってみよう

農業(代掻き、田植え、稲刈り、野菜作り、果樹の手入れ、収穫など)や農業体験(農作業体験、収穫イベントなど)等の写真

風景かな自然景観、田のある農村風景や稲田たがの光のある風景、農村に伝わる生活文化、伝統行事等の写真

募集期間 8/21(日)まで(当日消印有効)

各賞

- 長崎県知事賞 1点(3万円商品券)
- 水土里ネット長崎会長賞 1点(2万円商品券)
- 部門優秀賞 3点(1万円商品券)
- 入選 10点(3千円商品券)

送付先 〒850-0057 長崎市大黒町9番17号 長崎県土地改良事業団体連合会 「長崎の農業・農村写真コンテスト」係

TEL: 095-823-3101

会議と行事

3月

- 14日 九州協議会会長・事務責任者会議(福岡市)
- 15日 全土連複式簿記視察(西海町土地改良区)
- 16日 全土連複式簿記視察(杵岐土地改良区)
- 24日 全国水土里ネット第59回通常総会・表彰式(東京都)
- 27日 長崎県農地保全推進協議会総会(長崎市：土地改良会館)
- 31日 本会職員辞令交付式

4月

- 3日 平成29年度仕事始め式
- 10日 農業会議第1回常設審議委員会(長崎市：農協会館)
- 13日 第1回農業農村整備事業担当地方機関長会議(長崎市：土地改良会館)
- 20日 九州各県耕地関係課長等会議(熊本市)
- 26日 九州協議会総務担当者会議(鹿児島市)

5月

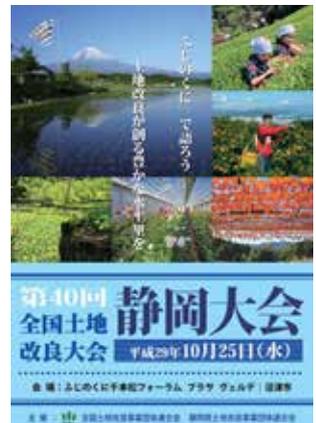
- 9日 土地改良事業団体連合会九州協議会第59回通常総会(長崎市：サンプリエール)
- 10日 第205回理事会(長崎市：土地改良会館)
- 23日 公認会計士による平成28年度会計監査(長崎市：土地改良会館)
都道府県土地改良事業団体連合会会長・事務責任者合同会議(東京都)
- 29日 水土里情報連絡協議会幹事会
- 31日 九州協議会合同会議(大分県)

第40回全国土地改良大会静岡大会について

来たる10月25日(水)、静岡県において、第40回全国土地改良大会静岡大会が、『「ふじのくに」で語ろう 土地改良が創る豊かな水土里を』をテーマに開催されます。

日程は以下のとおりとなっております。

日時：式典：10月25日(水)
事業視察：10月26日(木)
場所：ふじのくに千本松フォーラム プラサ ヴェルデ(静岡県沼津市)



土地改良会館 〒850-0057 長崎市大黒町9番17号 TEL(095)823-3101・FAX(095)823-3102
総務部：総務課・会員支援課・事業推進室 (E-mail：n.soumu.3101@ntr.or.jp)
技術部：技術課・換地課 (E-mail：nagasaki.setukei@ntr.or.jp)

県央支所：〒854-0071 諫早市永昌東町25-37 TEL(0957)23-7645・FAX(0957)27-0025 ☒ sisho02@ntr.or.jp
島原支所：〒855-0036 島原市城内1丁目1185-1 TEL(0957)62-6424・FAX(0957)65-0618 ☒ sisho03@ntr.or.jp
五島支所：〒853-0032 五島市大荒町441-1 TEL(0959)72-5007・FAX(0959)72-5007 ☒ sisho05@ntr.or.jp
杵岐支所：〒811-5133 杵岐市郷ノ浦町本村触509-3 TEL(0920)47-0408・FAX(0920)48-1011 ☒ sisho06@ntr.or.jp

ホームページ <http://ntr.or.jp>

水土里ネット長崎

検索

長崎県農地保全推進協議会 TEL(095)816-3636 ☒ nagasaki.nkyougikai@ntr.or.jp

【本誌に関するお問合せやご質問などは、水土里ネット長崎総務課までお願い致します】